

Forget-Me-Not

忘れな草

比較をしながら表情やT=の演奏をこころがけましょう。
 (調性やリズム)・この曲には同じ音型で表情が変化する、というパターンがいくつも出てきます。
 それを意識することで表現豊かな演奏をするポイントです。

Heinrich Lichner op.160-6

Andante con moto

Piano

p con espress

ben legato sempre il basso

3つの音が均等な大きさで演奏するのは、
1拍目、4拍目はソレ重み、これは円をイメージ。

あまり遅くはならない = フレズを止めない。

ritard. 半終止 *a tempo*

→ 長調に転調、明るさを感じて。

(1)

decresc.

比較① (1)は=短調、(2)は+短調、(2)は(1)よりも悲しく、弱いイメージ。

(2)

p

(1)

比較② (1)はハ長調 光がさすように柔らかなイメージ。
 (2)はニ短調 (1)のペースにに対して、こたえるように演奏。

(2)

(1)

p dolce
legato

比較③ (1)は、口長調、dolceと記載されている通り、柔かく優しく
 (2)は、短調。「でも」「はげしい」というように、前の明るい長調のフレーズを打ち消すような表情。

(2)

mf

一段音程の上がる、推進力。

mf

mf

ritard.

74 *p a tempo*

78

82 *a tempo*

87

91 *più ritard.* *pp*

伸び音の中から
bシがでてくるように。
数える。